

地域医療人育成センターだより

第1号

平成27年1月21日発行
 発行者：雲南市立病院総務課
 住所：〒699-1221
 島根県雲南市大東町飯田96番地1
 電話番号：0854-43-2441
 ホームページ：<http://unnan-hp.jp/>
 フェイスブック
<https://www.facebook.com/unnan.city.hospital>

「地域医療人育成センターだより」発刊のご挨拶

雲南市立病院 地域医療人育成センター
 所長 森脇 義弘



「地域医療人育成センターだより」発刊にあたって、ご挨拶を申し上げます。当院では、医師・看護師をはじめとする地域医療を担う医療職を育成することを目的に『地域医療人育成センター』を平成21年4月から開設しています。このセンターでは、研修医の指導、医学生・看護学生の実習、高校生・中学生の医療現場体験などの事業を実施し、地域で必要とする医療人材を地域で育てる取り組みを行っています。この取り組みには地域住民の皆さんのご協力も必要不可欠です。皆さんと一緒に将来をたくせる医療人を育てて行きましょう。私は雲南の出身ではありませんが、この町の習慣や文化や人は良い医療人を育てるのに最高だと感じています。

この「地域医療人育成センターだより」発行により、医療関係者や地域のみなさまに、センターで行っている事業を紹介していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

★ 地域医療人育成センターの体制

所長 森脇 義弘（診療局長）
 副所長 板持 さとみ（看護部長）
 奥田 淳三（外科医員）
 事務局 雲南市立病院 総務課総務係

★ 地域医療人育成センター設置の背景

平成16年から始まった新臨床研修制度により、研修医が都会に流れ、地方の病院では研修医が不足するようになりました。

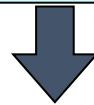
当院でも医師数が半減する事態となり、医師を確保するための独自の対策が必要となりました。

のことから、平成21年に「地域医療人育成センター」を開設し、「地域に必要な医療人を地域で生み、育てる」取り組みを行っています。

2004年 新臨床研修制度
 大学医局で研修する医師が減少



大学医局に頼っていた地域医療におおきな打撃！

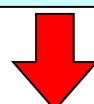


大学医局からの医師引き上げにより常勤医師激減 **半減**

常勤医師

平成14年度 34人 → 平成22年度 17人

研修医の多くは大都市や有名な病院へ！



大学からの派遣だけに頼ってはいられない！
 「地域に必要な医療人は地域で生み、育てる」

地域医療人育成センターの開設

★ 地域医療人育成センターで行っている事業は、

①研修医の地域医療研修

島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院などの協力型病院として、初期研修医（2年目までの医師）の地域医療研修を行っています。



②医学生の地域医療実習

島根大学医学部5年生、6年生の実習を受け入れています。



③中学生・高校生の医療現場体験

夏休みや春休みを利用した医療現場体験などを受け入れています。



④小学生の病院見学

小学生が院内や救急車などの見学、救命処置体験などを行います。



⑤うんなん医療見学ツアー

都市部の医療従事者や地元の医療系学生に、雲南地域の医・食・住の魅力を感じてもらうツアーです。ツアー参加者の中には、その後当院に就職された方もいます。



などを行っています。

今後、「地域医療人育成センターだより」を継続的に発行し、センターで行っている地域医療を担う人材育成の取り組みを紹介していきますので、よろしくお願いいたします。